

熊本県益城町ましき・浄信寺の本堂
は大きく傾き、屋根が崩れ落ち



「梅雨や台風の季節が…」

熊本県益城町・浄信寺

た（5月11日撮影）。

小田孝行住職（66）が本堂の屋根のブルーシートをかけ直そうとして転落、けがを負ったため、長男の孝道さん（41）がボランティアや友人らの手を借り、片付けを続ける。孝道さんは「鐘楼や納骨堂、墓石も損壊した。これから梅雨や台風の季節がくる。愚痴ばかりがこぼれる。門信徒の被害状況は把握できていないが、おそらく被災しておられる。支援してほしいと、こちらからは言いづらい…。震災を通し、僧侶とは何かを考えるようになった」と話す。